

修文大学・修文大学短期大学部の中長期計画(2025 年度～2029 年度)

近年の少子化など大学・短大を取り巻く環境が大変厳しくなっている。こうした状況の中で、本学の建学の精神、教育理念、教育方針を堅持しつつ、信頼される人材を育成するためには、教育研究の更なる質の向上等の課題に取り組んでいくことが求められる。これらの課題を達成するためには、基本的な方向性を示し、計画的に実行していくことが必要であるので、以下のとおり中長期計画として定める。

1. 建学の精神

国家・社会に貢献できる人材の育成

2. 教育理念

人間を重視し、人間の生き方の創造に貢献できる人材の育成

3. 教育方針

- ・学生の学びの質を向上させる
- ・地域社会での知の拠点としての大学の役割を強化する
- ・グローバル社会に対応した人材を育成する

【テーマ】

明るい未来を創る信頼の教育

【目標指標】

- ① 国家試験合格率・資格取得率向上
- ② 就職率向上
- ③ 収容定員充足率向上
- ④ 全学生 PC/タブレット授業
- ⑤ 学生の満足度向上
- ⑥ 教員の論文数増加
- ⑦ 科研費等取得件数増加
- ⑧ セミナー・イベント開催数増加
- ⑨ 海外研修参加数増加

I. 教育研究等の質の向上

1. 教育	
(1) 学生募集に関する目標	(1) 学生募集に関する目標を達成するための計画
・アドミッションポリシーの見直し ・入試に関する広報活動の強化 などにより、収容定員充足率の向上を目指す	1) アドミッション・ポリシーの見直しとそれに基づく多様な入学者選抜を実施する 2) 特徴的な教育プログラムのアピールなどオープンキャンパスを充実し、基礎学力の高い学生の入学を目指す 3) SNS を含めたデジタルコンテンツの充実などネット環境を活用した入学者選抜に関する広報戦略を強化する 4) 県内外の高校との連携(高大連携)を強化する ・修文キャンパスビジット、出前授業などを実施する 5) 修文学院高校からの内部進学選抜を推進する ・定期的に意見交換を実施して連携を強化する
(2) 教育内容に関する目標	(2) 教育内容に関する目標を達成するための計画
・カリキュラムポリシーとディプロマポリシーの更なる改善 ・豊かな人間性を養う教育の充実 ・倫理教育の強化 ・コミュニケーション能力の向上 ・アクティブラーニングの推進 ・ICT 教育の強化 ・国家試験合格率の向上 ・資格・免許取得率の向上 ・学生代表の教育改善委員会からの意見に基づく教育改善 ・FD/SD の推進 ・IR 本部の整備に伴う教育機能の強化 ・自己点検評価報告書の作成 などにより、信頼される人材を育成するための教育内容の充実を目指す	1) 本学の教育方針である「<u>学生の学びの質を向上させる</u>」に基づき教育内容を常に改善する ・3つのポリシーと教育目標、カリキュラムマップやシラバスとの関連について常に検証して改善に努める ・豊かな人間性を有する人材を養成するため、カリキュラムポリシーとディプロマポリシーの見直しを行う ・倫理教育を推進する ・コミュニケーション能力関連科目を充実する ・グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーションなどアクティブラーニング関連科目を充実する ・自己学修時間のシラバス設定など自己学習を推進する ・社会人としてのマナー教育を行う 2) ICT 教育の強化により情報通信処理能力を育成する ・データサイエンス・AI 教育を強化する 3) 高い国家試験合格率を目指す ・学生へのきめ細やかな学習支援を行える体制のもと国家試験対策の推進により全員合格を目指す 4) 各種資格・免許取得率の向上を目指す 5) 学生代表の教育改善委員会から出された意見・要望について検討を行い、教育を改善する 6) 教員の FD 活動の充実と、学生と指導教員双方への教育内容の評価フィードバックの更なる整備を行う ・学修ポートフォリオ、ティーチングポートフォリオを活用した教育評価のフィードバックを促進する

	・授業評価アンケート結果を参考にして教育を改善する ・授業評価アンケート及び普段の教育活動などからベストティーチャー賞受賞者を決定し教員を顕彰する ・職員の SD を推進し、教職協働と能力向上を図る 7) IR 本部を整備し、各種アンケート結果などを分析して教育改善の取り組みなどに応用する ・学修状況アンケート、卒業時アンケート、卒業後アンケート、就職先アンケートなどを分析して教育を改善する 8) 自己点検評価報告書を毎年作成し、教育研究等の活動を点検して改善する ・教育研究等の活動に関して外部評価委員からの意見を聴く
(3) 教育システムに関する目標	(3) 教育システムに関する目標を達成するための計画
・教育 DX 推進委員会によるデジタルシステム整備による教育機能強化 ・シミュレーション教育強化 ・提携大学、関連施設との連携強化 ・海外提携大学を通じての積極的な教育研究面の連携維持・強化 などにより、教育システムの充実を目指す	1) 教育 DX 推進委員会を設置し、通信情報網整備により教育機能を強化する ・ICT を利用した教育の今後の発展需要を見据えた大量の情報処理能力を有した教育システムを整備する ・全学生1人1台の PC/タブレットを用いた授業を推進する 2) シミュレーション備品の活用による教育プログラムを充実する 3) 提携大学や関連施設との連携教育を強化する ・名古屋大学医学部、藤田医科大学、愛知医科大学との連携を強化する ・大学間協定による単位互換などを検討する ・臨地実習関連施設の臨地実習指導者との密接な情報交換を促進する 4) 海外提携大学との教育研究面での連携を強化する ・学生の海外研修などを実施する
(4) 学生学習支援に関する目標	(4) 学生学習支援に関する目標を達成するための計画
・学生に寄りそう支援指導体制の強化 ・リメディアル教育の充実 ・修文ピアサポート(修文ピアーズ)活動の充実	1) 学生との信頼関係を基に学習支援体制の充実、学習能力向上を目指したきめ細やかな指導体制を提供する ・アドバイザー・ゼミや担任制度による学習支援を強化する ・退学者及び留年者の軽減対策や休学者の支援を充実する 2) 基礎学力強化を目指したリメディアル教育のための基礎科目を充実する

・大学祭、スポーツフェスティバル、オープンキャンパス、クラブ・同好会活動の充実 ・学外オリエンテーションの充実 ・奨学金など経済的支援の充実・強化 ・学生のボランティア活動などを積極的にサポートする体制の強化 ・健康管理支援や安全確保の強化 などにより、学生への学習支援の充実を目指す	・レポート作成などの文書作成能力を向上させる 3) 各学部学科に特徴的なピアサポート活動を実施するなど修文ピアーズの活動を充実する ・学修上の相談、知識・技術等の学修支援、授業の補助業務などを推進する ・大学祭、スポーツフェスティバル、オープンキャンパスなどの大学行事への参加を推進する 4) 学生の大学祭やスポーツフェスティバル、オープンキャンパス、クラブ・同好会などへの参加を奨励する 5) 学外オリエンテーションを充実して学生同士の懇親と学生と教員との信頼関係を強化する 6) 奨学金など経済的支援を必要とする学生へのサポートを充実する 7) 学生のボランティア活動、障がい者支援を積極的にサポートする体制を強化する 8) 学生の健康管理支援や安全確保の強化を行う ・特に実習時の安全対策及び感染予防策を強化する ・予防接種など感染管理への取り組みを強化する ・生活面での安全確保、事故防止、防災対策への意識を高めるように指導する
(5) 就職支援に関する目標	(5) 就職支援に関する目標を達成するための計画
・就職支援・キャリア支援体制の強化 ・卒業後のキャリア支援体制の推進 ・卒業生による在校生サポート体制や就職支援体制の充実（同窓会の強化） などにより、学生への就職支援の充実を目指す	1) 就職支援・キャリア支援体制を強化し、就職率を向上させる ・臨地実習、インターンシップにより現場教育を体験させる ・各職業の仕事内容を理解させる 2) 卒業後のキャリア支援体制を推進する ・卒業後の悩みサポート・ホットラインを整備する 3) 卒業生による支援ネットワークを確立して在校生サポート体制や就職支援・キャリア支援を推進する ・同窓会組織を強化する
2. 研究	
(6) 研究内容に関する目標	(6) 研究内容に関する目標を達成するための計画
・本学で特徴ある分野のプロジェクト研究や学際的共同研究の推進	1) 本学の教育方針である「<u>地域社会での知の拠点としての大学の役割を強化する</u>」ため、特徴ある研究を推進さ

・研究内容の国際化の推進 ・研究成果の対外的発信力の増強 などにより、研究成果の向上を目指す	せ、独創的で社会的要請の高いプロジェクト研究や地域研究などに重点的に取り組む ・国際的な研究への参加や海外の大学・研究機関との共同研究を推進する 2) 学会・論文発表など学問的発信力を強化する ・査読付き研究論文数を増やす ・英文の研究論文数を増やす ・学会などからの受賞者数を増やす ・機関リポジトリの整備により研究成果を公表する ・研究成果のメディアへの発信など広報活動を強化する ・学会の学術集会を開催する
(7) 研究実施体制に関する目標	(7) 研究実施体制に関する目標を達成するための計画
・医用質量分析センターにおける研究の推進 ・外部資金獲得推進に向けての組織的支援 ・教員研究評価やインセンティブ制度など研究成果の評価の重視 ・研究費管理と研究倫理教育のFD推進 などにより、研究実施体制の充実を目指す	1) 医用質量分析センターを中心にして質量分析を用いた教育研究を推進する 2) 研究助成情報の発信体制強化など教員による科研費を中心とした競争的研究費獲得を促進する 3) 研究成果や外部資金獲得などを考慮した教員評価やインセンティブ制度を設けるなど研究成果の評価を重視する 4) 研究活動の不正行為防止のための研究費管理体制を強化する ・不正を未然に防止するための管理体制の充実を図る ・研究倫理委員会による研究倫理に関するFD活動を強化する
3. 地域・社会貢献	
(8) 地域・社会貢献に関する目標	(8) 地域・社会貢献に関する目標を達成するための計画
・地域と密着した活動を通じて地域社会の中核教育研究拠点としての貢献 ・社会貢献活動への取り組みの継続と貢献の推進 などにより、地域連携と社会貢献の推進を目指す	1) 本学の建学の精神である「国家・社会に貢献できる人材の育成」の実現のため、一宮市などと協働して地域社会の教育研究の拠点として貢献する ・市民大学公開講座やセミナー、イベントなどを通じ、地域住民や地域関係者の生涯教育の拠点としての機能を果たす 2) 地域における医療・教育・企業など関係機関と更なる連携により地域社会の活性化に寄与する

	3) 学生参加によるボランティア活動など社会貢献活動の取り組みを推進する
4. 国際化(グローバル化)	
(9) 国際化に関する目標	(9) 国際化に関する目標を達成するための計画
・海外提携大学を中心に学生の交流の推進 ・国際的な共同研究の促進と研究成果の海外への積極的発信 などにより、国際交流の活性化を図り、教育研究の機能強化を目指す	1) 本学の教育方針である「<u>グローバル社会に対応した人材を育成する</u>」に基づき、国際的視野を有し協働できる人材育成の更なる推進及びそのための教育交流事業を充実する ・学生の交流の促進のための海外研修を推進する ・海外提携大学との継続的な交流を推進する 2) 国際的な共同研究を推進する ・海外の大学との共同研究を推進する ・国際シンポジウムを開催する
II. 業務運営の改善	
(10) 業務運営の改善に関する目標	(10) 業務運営の改善に関する目標を達成するための計画
・教職員のコンプライアンス意識の向上 ・ガバナンスコードの作成 ・適正な環境維持による教職員の心身の健康保持増進 ・防災体制の強化 ・感染防御体制の維持・強化 などにより、社会から信頼される本学の運営と安心安全な職場づくりを目指す	1) 教職員のコンプライアンス意識の定着を図り、法令及び内部規程などを遵守した運営を徹底する 2) 本学の教育・研究・社会貢献の機能向上を図り、社会的責任を全うするためガバナンスコードを作成する 3) 労働安全衛生法を遵守し適正な職場・作業環境を維持することにより、教職員の心身の健康保持増進を継続する ・働き方改革、子育て教職員の働きやすい職場の構築など教職員の健康面やワークライフバランスに配慮した施策を推進する 4) 防災体制の確認と強化を行う ・安否確認システム、防災マニュアルを作成する 5) 種々の感染症に対する学生・教職員の防御体制の維持・強化を行う
III. 新しい教育分野の開発	
(11) 新しい教育分野の開発に関する目標	(11) 新しい教育分野の開発に関する目標を達成するための計画
・本学における新しい教育分野の開発を目指す	1) 大学院の設置を検討する 2) 他の教育分野を検討する